



平成29年8月27日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ: http://www.tfd.metro.tokyo.jp

主な掲載内容 < 2・3面 > 地震その時10のポイント/ご自宅は大丈夫?家具転対策で命を守る! / < 4面 > 防火上安全安心な建物の目印「優マーク」/知ってください!消防団のこと / Miniコラム / プレゼントコーナー



9月9日は救急の日



今できることが命を左右する【応急手当】

救急車の出動件数は、毎年増え続けています。しかし、救急車の数には限りがあります。近くの救急車が出動していると、遠くから救急車が出動するため、到着までに時間がかかることになります。緊急の事態に遭遇した場合、そこにいるあなたの助けが必要なのです。急な病気やけがなどの現場では、救急車が到着するまでのバイスタンダー(その場に居合わせた人)による応急手当が大切です。応急手当をその場で速やかに行うことは、大切な命を救います。ぜひ勇気を持って応急手当を行ってください。

そばにいるあなたの手が「命」を救う。



AEDの使用による心拍再開率※1

[倒れるところを見たなど、バイスタンダーによる心停止の目撃がある場合]

バイスタンダーが実施



バイスタンダーは未実施で救急隊が実施



※1 平成27年東京消防庁「救急活動の現況」より

速やかな対応が大切です。



【応急手当】とは

胸骨圧迫(心臓マッサージ)、人工呼吸、AEDを用いた除細動(電気ショック)、気道異物除去、止血処置などのことです。

応急手当事例

そばにいるあなたが最初の救急隊です!

学校で救命講習を受けた高校生が、突然スーパーで人が倒れた時に、講習で覚えた胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施、救急車が到着するまで胸骨圧迫を続け、呼吸と脈拍が回復しました。

小学校六年生の児童が、サッカーの練習中にボールを胸で受けた数秒後に突然倒れた。コーチとグラウンドに居合わせた人がそれぞれ協力し、119番通報、AEDの搬送、胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施し児童の呼吸と脈拍が回復しました。

救命講習で応急手当を学ぶ

応急手当の方法を学ぶ講習を開催しています。いざという時に、自信を持って手を差し伸べられるよう、講習を受講しましょう! 講習については、最寄りの消防署または(公財)東京防災救急協会へお問い合わせください。

救命講習を受けましょう!

(公財)東京防災救急協会
■問合せ: TEL.03-5276-0995
(平日9:00~16:00まで土日祝日を除く)

詳しくは、東京消防庁HP「救命講習のご案内」をご覧ください。



教えて!

AED

Q. 誰でも使えるの?

A. 資格は必要なく、誰でも使用できます。AEDは電源を入れると、音声メッセージなどで使い方を教えてくれます。操作は簡単ですが、いざという時に慌てず使えるよう、日頃から救命講習などで学んでおくことが大切です。

Q. AEDを使って悪化させたらどうしよう?

A. AEDは、心臓の動きを機械が自動的に調べ、必要のない人には電気ショックを行いません。また日本では、善意で実施した行為に関して、責任を問われることはないと考えられています。

